

V2H-充放電器の停電時操作方法 マツダ [MX-30 EV MODEL][CX-60 PHEV]

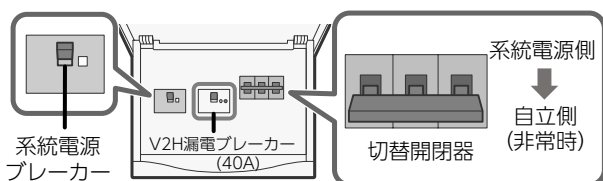
- ・車両からの電源供給を停電用（非常時専用）ラインにするため、切替開閉器を「自立側（非常時）」に切り替えてください（デモ用に模擬停電させる場合のみ、系統電源ブレーカーをオフしてください）。
 - ・家庭内の電気製品の電源をOFFしてから自立切り替え操作を行ってください。
- ※車両側の詳細操作および注意事項につきましては、車両の取扱説明書をご参照願います。

I. 給電開始の手順

CHECK

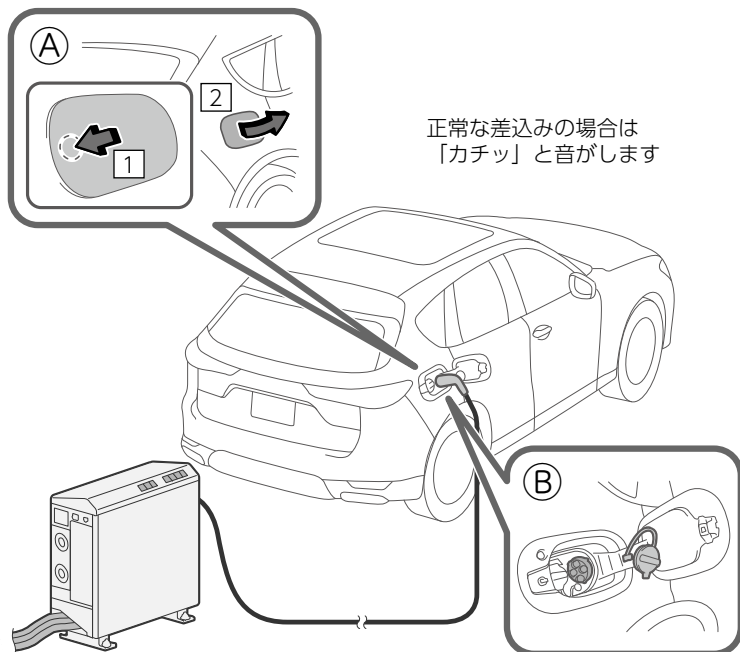
- ・セレクトレバーがPの位置になっていること
- ・パーキングブレーキがかかっていること
- ・電源ポジションがOFFになっていること

- 1 切替盤内の切替開閉器を「自立側」に切り替える。



※本体の操作パネルに E29/E74/E100/E123 が表示されますが、停電検知コードであり異常ではありません。（数秒で消えます）。

- 2 充電リッド①を押して開け、急速充電ポートキャップ②を開けて充放電コネクタを急速充電ポートに差し込む。

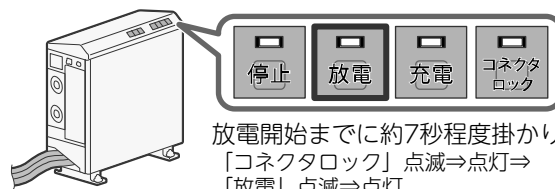


- 3 車両の電源ポジションをONにする。

- 4 マツダコネクットのメニュー内の「設定」を選択し「EVシステム」から「外部給電機の起動」をONにする。

- 5 センターディスプレイに表示された内容を確認して「OK」を選択する。

- 6 V2H本体の「放電ボタン」を押す。



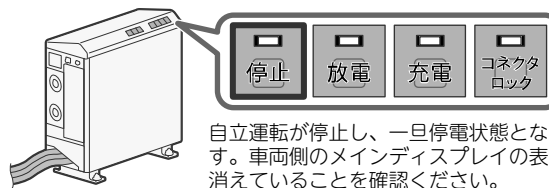
※コネクタ接続から5分以内に自立運転を開始できなかった場合は車両からの起動用給電が停止します。この場合、充放電コネクタを押し直してから、再度放電ボタンを押してください。

- 7 準備が完了し給電可能となる。使用する電気設備の電源を入れてください。

II. 停電終了（復電）時の手順

- 1 接続している電気製品の電源をOFFにする。

- 2 V2H本体の「停止ボタン」を押す。

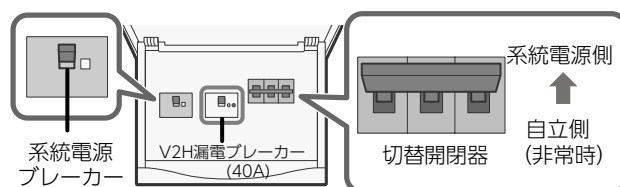


※「復電時放電継続設定」をOFFにしている場合、復電後に運転が自動停止するため、この操作は不要です。

- 3 急速充電コネクタを外す。

- 4 急速充電ポートキャップと充電リッドを閉め、車両の電源ポジションをOFFにする。

- 5 切替盤内の切替開閉器を「系統電源側」に切り替える。



※模擬停電終了の際は系統電源ブレーカーを「ON」にする。

Ⅲ.自立運転中、過負荷によりV2Hが停止した場合の復旧手順

V2H-充放電器の定格電力「6kVA未満（片相3kVA未満）」を超えて電力を使用した場合に、給電が停止し停電状態となります。この場合、再度給電するために下記手順にて復旧準備を実施してください。

- 1 給電停止前に使用していた電気機器等のスイッチをOFFにする。
- 2 急速充電ポートから「充放電コネクタ」を取り外し再度しっかりと挿し込む。

3 手順Ⅰ-②～⑦を再度行う。

4 **自立運転を再開します。**

※過負荷に注意し、電気製品のスイッチを入れてください。